

IHI 運搬機械株式会社 様

本社移転を機にICカードを使った印刷セキュリティを強化。フロアごとにプリンターのスペースをまとめた結果、オフィス空間の有効活用につながる。

IDカードシステム SmartSESAME[®]
SecurePrint!

導入事例

オフィス移転に合わせたプリンター機器の統廃合に対応 セキュリティ強化と同時に“利便性”と“コスト削減”に大きく貢献！

IUK



IHI運搬機械株式会社(以下、IUK)は、立体駐車場などの「パーキングシステム」事業と鉄鉱石・石炭を荷揚げする大型装置(アンローダー)、大型クレーンなどの「運搬機械」事業の2本柱でビジネスを展開している。2009年8月、本社移転と都内3ヶ所にあったオフィス拠点の統廃合を契機に、社内のガバナンス強化と快適なワークスペースづくりに取り組んできました。そのITインフラ基盤としてIUKが採用したのが、ICカード認証印刷ソリューション「SmartSESAME SecurePrint！」でした。本社移転という一大プロジェクトを成功に導いたIUK様の取り組みによって、社内の印刷物放置や待ち行列の解消だけにとどまらず、複合機・プリンターの削減などオフィス機器の最適化につながっています。

導入ポイント 導入効果

1 印刷管理コストの削減

台数の削減 & 運用コスト

メーカー・機種が混在する
プリンター環境下でも
統一して導入、運用が可能に

2 印刷待ちのムダ解消

「かざして印刷」機能

出力渋滞が解消し、
現場の作業効率が向上
オフィススペースの有効活用

3 放置印刷のリスク解消

印刷ログでムダを発見

3時間以上放置された
印刷ジョブを自動キャンセル
セキュリティ対策強化に

本社オフィス移転を機に、ICカードで“入退出管理”と“印刷物の漏えい対策”を同時に実現

本社オフィス移転を契機に セキュリティ対策をさらに強化

2009年8月、同社は一つの転機を迎えることになった。これまで都内3ヶ所にあったオフィス拠点を解消し、本社移転と同時に1ヶ所に機能集約する計画が決定したのだった。

「本社移転によって、これまで以上に組織間の連携を深め、意思疎通や業務効率を向上させることが大きな目標でした。このプロジェクトを機にガバナンスの強化やオフィス全体の最適化を図ることも視野に入れて検討を始めました」と話すのは、同社企画財務部 情報システムグループ 担当副部長の中村行男氏。そこで、オフィス移転を考える検討チーム「本社移転プロジェクト」が立ち上がる。移転のタイミングは2010年2月とちょうど半年後に迫っていた。

部門横断で集まったメンバーが一丸となり、移転に向けた作業を推進することとなった。一般的な事業所移転と異なり、『本社』機能を丸ごと移転させるとなると、そこに関わる作業はとてつもなく

膨大だ。例えば、ネットワーク関連の変更や整備、電話番号(内線)の変更、電気配線などの工事、さらにIT環境の再構築など、オフィスレイアウトだけにとどまらず対応すべき作業が多く、担当者にかかる負担は膨大なものとなる。オフィス移転プロジェクトを進める中、掲げられた重要なテーマの一つが“セキュリティ強化”だった。これまで、情報の持ち出しや印刷物の放置を防ぐため、社内への注意喚起を継続的に促していた。しかし、取り組みを続けていても、印刷物がそのまま放置されたり、印刷物の取り忘れや取り間違えが発生してしまうケースもあった。

“印刷待ちの行列”発生や“放置印刷”も 約80台の複合機・プリンターが分散

「セキュリティというのは、ルールを徹底させることが重要ですが、いくらルールを厳しくしても人的なミスはどうしても出てしまいます。それまでは水際で防げていたとしても、いつか情報漏えい事故につながる危険性ははらんでいます。だからこそ、リスクを最小限に抑える仕組みが欠かせませんでした」と同社企画財務部情報システムグ

ループ課長の演野豊氏は狙いを話す。

そこで新しいオフィスでは、ICカードによる入退室管理システムを導入し、物理的セキュリティの強化と同時に情報セキュリティの強化にも着手。特に重視したのが、プリンターで出力する紙媒体からの情報漏えい対策だった。

「移転前は約800名の社員に対し、約80台のプリンター・複合機を設置していました。課やグループといった、いわゆる“島”ごとに設置されていました。このため誰かが大量に印刷すると待ち行列ができてしまう一方、隣のプリンターは空いているのに使えないというケースが見受けられていました」と中村氏。

出力文書の中には、パーキング事業で使う立体図面を含めて膨大な量になる上、お客様に関するデータや見積書など重要な情報が記されたものも少なくなかった。プリントアウトしたものが出力トレイに放置されたままになっている状況では、「いくら入退室管理のセキュリティを強化しても、本末転倒となってしまう」という懸念もあった。

IHI 運搬機械株式会社 様

本社移転を機にICカードを使った印刷セキュリティを強化。フロアごとにプリンターのスペースをまとめた結果、オフィス空間の有効活用につながる。

IDカードシステム スマートセサミ SmartSESAME®
SecurePrint!

導入事例

導入の決め手と導入効果

既存の印刷環境を活かして、 利便性とセキュリティを同時に追求

製品検討フェーズに入ってから、同社は印刷セキュリティ関連のソリューションを取り扱っている複合機メーカーやベンダーなど複数社に声をかける。その多くは自社製品をベースとしたソリューション提案が中心だった。一方、東芝情報機器（TIE）の提案は、複数メーカーのプリンターや複合機が混在するIUKの現場を把握した上で、そのま



まの環境でも対応できる認証印刷ソリューションを強く推した内容だった。その提案には既存の資産（プリンター/複合機）を活かすことで、全体的な導入コストを抑えるメリットも考慮したものだった。

移転後の想定したトラブルは無し “すべて杞憂に終わり安心しました”

当然のことながらオフィス内には複数メーカーのプリンター複合機が混在しています。こうした環境下でも柔軟な認証印刷に対応できること。さらに、一元的な管理ができることなど運用面の利便性も重視していました」と中村、濱野の両氏は評価する。すでにTIEでも認証印刷を社内導入していたため、その利用現場も同時に視察。その結果、条件を満たすものがTIEの提案であり、そのベースとなるソリューションとしてシーイーシーのSecurePrint！（セキュアプリント）の採用を決めた。2009年12月のことだった。

「情報システムグループは、管理職2名とスタッフ

あわせて10名弱の体制で全社システムの企画からシステム開発、その後のシステム運用管理を担っています。通常業務とは別に今回のオフィス移転という新たなミッションも加わり、業務は相当ハードでした」と、濱野氏は振り返る。

年が明けた2010年、移転準備はいよいよ佳境に入る。移転期日が迫る中、導入作業にあたってIUKとTIE、シーイーシーは綿密な打ち合わせを何度も繰り返し、スケジュールに遅れが出ないようSecurePrint！の導入を急ピッチで進めていった。関係各社が気がかりだったのは、導入初期段階でのちょっとしたミスでも、後々の移転作業に支障が出てしまうことだった。何よりも移転作業の遅れの原因となることが一番の恐れだった。

「3週に分けて実施した引っ越し期間中、結果的には何も起こらず杞憂に終わりました。各日とも待機いただき色々な面でサポートしていただいた結果だと思っています」と中村、濱野の両氏は感想を述べる。

活用の方法と展望

オフィス全体の省コスト化を目指し、 オフィス全体の“見える化”を推進

今後の展望について中村氏は、「社内にあるプリンター、複合機の最適化を考えています。これまではあまり使われていないプリンターや複合機があったにも関わらず、グループ（島）ごとに設置・利用されていたため、見過ごされていた部分もありました。今回のSecurePrint！導入によって、紙の使

用状況なども印刷ログを見れば機器ごとに一目瞭然で分かるようになったため、稼働率が低いプリンターの削減などにも積極的に取り組んでいきたい」と話す。

また、SecurePrint！にある『印刷キャンセル』機能によって、一度パソコンから印刷指示を出した後でも印刷の中止ができることにも着目。濱野氏は「今はまだ導入して2ヶ月程度ですが、それでも徐々にその効果も表れてきている」という。ICカードをかざさず3時間以上放置された印刷ジョブを自動キャンセル設定にしたところ、すでにかかりの

枚数がキャンセル扱いになった。「ログを分析し、プリンター台数の削減、さらにはコスト削減に向けた活動の参考にしたい」と濱野氏は語る。今後は組織の拡大や席替え、フロア間の移動を頻繁に行なう状況でも、出力枚数を詳細に把握し、さらに社内に散らばったプリンター機器の最適配置など、生産性やセキュリティ強化につながっていくか。

将来的な展望を掲げ、SecurePrint！の導入がこうした取り組みの強い“武器”となることに両氏は期待している。

お客様プロフィール

IUK IHI運搬機械株式会社 様

IHI 運搬機械株式会社（以下、IUK）は、立体駐車場などの「パーキングシステム」事業と鉄鉱石・石炭を荷揚げする大型装置（アンローダー）、大型クレーンなどの「運搬機械」事業の2本柱でビジネスを展開しています。国内シェアトップを誇っている立体駐車場事業に加え、近年は電気自動車に対応したEV充電対応のパーキング、駐車が苦手な人向けに全自動で駐車を可能にする「自動車搬送ロボット（iCART）」の開発など、新たなビジネスモデルへの取り組みも加速させています。

本 社 〒104-0044 東京都中央区明石町8-1（聖路加タワー）
代表者 代表取締役社長 吉田 豊
設 立 1974年4月2日
主事業 パーキングシステム、運搬・物流システム
URL <http://www.iuk.co.jp/>



■写真
オフィス全体が快適なスペースに生まれ変わった IHI 運搬機械様の受付スペース

お問い合わせ

CEC 株式会社シーイーシー
Computer Engineering & Consulting

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル8F
TEL:03-5789-2442 FAX:03-5789-2586
E-mail:marketing@cec-ltd.co.jp

SecurePrint! <https://sesame.cec-ltd.co.jp/>
スマートセサミ クリック!

販売代理店